

## 令和7年度 体育に関する指導改善計画

東広島市 立郷田 小学校

| 令和6年度の重点課題 |  |
|------------|--|
| ○学校全体      | ・「握力」の数値が低くなっている。  |
| ○男子        | ・運動やスポーツを「ときたま（月に1日～3日）」または「しない」と答える児童の割合が18%である。                                      |
| ○女子        | ・「20mシャトルラン」において、県平均値かつ全国平均値より低い。<br>・運動やスポーツを「ときたま（月に1日～3日）」または「しない」と答える児童の割合が34%である。 |

| 上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項 |   |
|----------------------|---|
| ○ACPの実施              | ・準備運動の中に授業で取り扱う運動領域に応じたACP（アクティブチャイルドプログラム）を取り入れ、児童に運動遊びを通して運動する楽しさや心地よさを感じさせた。 |
| ○授業改善                | ・運動することが苦手な児童が自信をもつて授業参加できるように、各学年の実態に応じて、用具や場の設定、ルールの工夫を行った。                   |
| ○体育イベントの開催           | ・体づくり運動と関連させて、持久走大会、なわとび大会などのスポーツイベントを開催し、児童の運動意欲を高める取り組みを行った。                  |
| ○家庭啓発                | ・体育通信を発行し、家庭でできる運動遊びの紹介等を行った。   |

| 令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較   |  |
|---|--|
| 男子  | 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 20mシャトルラン 50m走 立ち幅とび ポール投げ 体力合計点  |
| 第5学年  | 15.25 23.42 30.86 43.44 63.12 9.10 160.02  |
| 県平均値かつ全国平均値未満   |  |
| 女子  | 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 20mシャトルラン 50m走 立ち幅とび ポール投げ 体力合計点  |
| 第5学年  | 15.48 19.79 37.82 39.40 45.65 9.72 144.75  |
| 県平均値かつ全国平均値未満   |  |
| 令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較   |  |
| 男子  | 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 20mシャトルラン 50m走 立ち幅とび ポール投げ 体力合計点  |
| 第5学年  | 15.25 23.42 30.86 43.44 63.12 9.10 160.02  |
| 県平均値かつ全国平均値未満   |  |
| 女子  | 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 20mシャトルラン 50m走 立ち幅とび ポール投げ 体力合計点  |
| 第5学年  | 15.48 19.79 37.82 39.40 45.65 9.72 144.75  |
| 県平均値かつ全国平均値未満   |  |
| 運動(体を動かす遊びを含む)や   |  |
| 男子  | 好き やや好き やや嫌い 嫌い  |
| 第5学年  | 76.67 23.33 0.00 0.00  |
| 女子  | 好き やや好き やや嫌い 嫌い  |
| 第5学年  | 66.67 28.21 5.13 0.00  |
| 学校独自の意識調査   |  |
| 男子  | ほとんど まあまあ あまり まったく とても まあまあ あまり まったく   |
| 全児童   | 63 22 9 6 75 14 7 4  |
| 運動やスポーツに取り組んでいる（授業以外で）  |  |
| 女子  | ほとんど まあまあ あまり まったく とても まあまあ あまり まったく   |
| 全児童   | 63 22 9 6 75 14 7 4  |
| 体育の授業は楽しい   |  |
| 男子  | ほとんど まあまあ あまり まったく とても まあまあ あまり まったく   |
| 全児童   | 63 22 9 6 75 14 7 4  |
| 重点課題に対応した改善する取組内容及び方法   |  |
| 重点課題  |  |
| 情意面での課題   |  |
| ○男子   | ・運動やスポーツを「ときたま（月に1日～3日）」または「しない」と答える児童の割合が10%である。  |
| ○女子   | ・運動やスポーツを「ときたま（月に1日～3日）」または「しない」と答える児童の割合が15%である。<br>・「体育の授業は楽しいですか」の回答に対して、否定的な児童が10%いる。                                    |
| 体力面での課題   |  |
| ○男子   | ・「握力」「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。  |
| ○女子   | ・「握力」において、県平均値かつ全国平均値より低い。   |
| 体育の授業で行う取組内容  |  |
| ○ACPの実施   | ・準備運動の中に授業で取り扱う運動領域に応じたACP（アクティブチャイルドプログラム）を取り入れ、児童に運動遊びを通して運動する楽しさや心地よさを感じさせる。  |
| ○授業改善   | ・児童が主体的につかわり合う授業にするために、各学年の実態に応じて、用具や場の設定、ルールの工夫を行う。<br>・児童がスマーレステップで運動に取り組めるように運動のレベル化を図り、どの児童も「できた」「分かった」と感じができる授業改善に取り組む。 |
| 体育の授業以外で行う取組内容  |  |
| ○遊びの充実  | ・毎月2回のロングタイム昼休憩を活用し、外遊びをする機会を設け、児童に体を動かす楽しさや心地よさを感じさせる。  |
| ○体育イベントの開催  | ・体づくり運動と関連させて、持久走大会、なわとび大会などのスポーツイベントを開催し、児童の運動意欲を高める。   |
| ○家庭啓発   | ・体育通信を発行し、家庭でできる運動遊びの紹介を行う。  |
| 令和8年度の重点目標値   |  |
| ○「握力」において、県平均値かつ全国平均値以上にする。<br>○運動やスポーツを「ほとんど毎日する」「まあまあ（週に1日～3日）」と回答する児童の割合を85%以上にする。<br>○体育の授業が「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答する児童の割合を10%以下にする。 |  |